



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月10日

上場会社名 株式会社リード 上場取引所 東・福
 コード番号 6982 URL <https://www.lead.co.jp>
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）岩崎 元治
 問合せ先責任者（役職名）取締役総務部長（氏名）田口 英美 TEL 048-588-1121
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,257	5.2	△245	—	△205	—	△218	—
2025年3月期第3四半期	3,097	△19.8	△104	—	△51	—	△93	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△84.52	—
2025年3月期第3四半期	△36.25	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	8,919	2,540	28.5
2025年3月期	7,882	2,600	33.0

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 2,540百万円 2025年3月期 2,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	19.4	△120	—	△80	—	△90	—	△34.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2025年12月31日現在の発行済株式数（自己株式を除く）を使用しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	2,632,960株	2025年3月期	2,632,960株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	43,244株	2025年3月期	53,919株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	2,585,200株	2025年3月期3Q	2,590,732株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、不安定な国際情勢や米国の通商政策、物価の上昇、金融資本市場の変動等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の売上高に大きな影響を与える株式会社SUBARUの世界生産台数は、前年同月比10月が26.4%減、同11月が20.4%減、同12月が5.0%減と減産が続いております。

このような経済環境の中で当第3四半期累計期間の売上高は、自動車用部品部門において、既存の大口量産車1車種が、フルモデルチェンジにより2025年6月末で生産を終了したものの、当第3四半期会計期間において新規大口量産部品の生産を開始したことを主因に、3,257百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

損益面につきましては、自動車用部品部門の受注が前述の要因で増加したものの、大口受注を踏まえた3,500トンの大型樹脂成形機の導入(能力増強投資)や、生産量増加を見据えた生産ライン確保のための工場レイアウト再編等の先行投資の影響もあり、営業損失は245百万円(前年同期は営業損失104百万円)となりました。

営業外収益は受取配当金40百万円、受取賃貸料29百万円、スクラップ売却益16百万円等により90百万円、営業外費用は支払利息42百万円等により50百万円を計上し、経常損失は205百万円(前年同期は経常損失51百万円)となりました。また、特別利益は固定資産売却益等により3百万円、特別損失は固定資産除却損等により16百万円を計上し、その結果、四半期純損失は218百万円(前年同期は四半期純損失93百万円)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

なお、第1四半期会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前第3四半期累計期間との比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①自動車用部品

当セグメントの売上高は、既存の大口量産車1車種が、フルモデルチェンジにより2025年6月末で生産を終了したものの、当第3四半期会計期間において新規大口量産部品の生産を開始したことを主因に、3,009百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

損益面につきましては、前述の要因で受注が増加したものの、大口受注を踏まえた3,500トンの大型樹脂成形機の導入(能力増強投資)や、生産量増加を見据えた生産ライン確保のための工場レイアウト再編等の先行投資の影響もあり、セグメント損失(経常損失)は、248百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)57百万円)となりました。

②自社製品

当セグメントの売上高は、駐輪事業における駅前施設等の受注増から、220百万円(前年同期比68.1%増)となりました。

損益面につきましては、セグメント利益(経常利益)は3百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)19百万円)となりました。

③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は、21百万円(前年同期比1.5%増)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しています。

④その他

電子機器事業においては、2025年6月末で撤退をしたため、売上高は28百万円(前年同期比64.6%減)となりました。

損益面につきましては、セグメント利益(経常利益)19百万円(前年同期比286.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前期末比1,036百万円増加し8,919百万円となりました。

・資産

流動資産は、現金及び預金が171百万円、仕掛品が25百万円、原材料及び貯蔵品が37百万円、その他のうち未収消費税等が76百万円増加し、電子記録債権が74百万円、その他のうち有償支給に係る資産が18百万円減少したこと等から233百万円増加し2,802百万円となりました。

固定資産は、機械及び装置が45百万円、工具、器具及び備品が231百万円、リース資産が486百万円増加し、建物が48百万円、建設仮勘定が153百万円減少したこと等から有形固定資産は557百万円増加し4,815百万円となり、また、投資有価証券が249百万円増加したこと等から投資その他の資産は245百万円増加し1,299百万円となりました。その結果、固定資産全体では802百万円増加し6,116百万円となりました。

・負債

流動負債は、支払手形及び買掛金が81百万円、電子記録債務が14百万円、短期借入金が20百万円、未払金が81百万円、その他のうちリース債務が58百万円、並びに役員及び従業員に対する短期債務が10百万円増加し、賞与引当金が22百万円減少したこと等から245百万円増加し2,761百万円となりました。

固定負債は、長期借入金303百万円、その他のうちリース債務が484百万円及び繰延税金負債が66百万円増加したこと等から850百万円増加し3,616百万円となりました。その結果、負債全体では1,095百万円増加し6,378百万円となりました。

・純資産

純資産は、配当金の支払が25百万円、四半期純損失が218百万円となり利益剰余金が244百万円減少し、また、その他有価証券評価差額金が178百万円増加したこと等から59百万円減少し、その結果、純資産額は2,540百万円となりました。これにより自己資本比率は28.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想並びに配当予想につきましては、2025年11月7日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,435,501	1,606,841
受取手形及び売掛金	559,964	561,566
電子記録債権	225,754	151,673
製品	38,646	31,992
仕掛品	22,766	48,303
原材料及び貯蔵品	181,936	219,643
その他	104,881	182,674
貸倒引当金	△60	—
流動資産合計	2,569,390	2,802,694
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,231,596	1,183,411
構築物(純額)	29,841	28,500
機械及び装置(純額)	430,074	476,057
車両運搬具(純額)	6,809	4,203
工具、器具及び備品(純額)	437,525	668,848
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産(純額)	209,776	696,412
建設仮勘定	253,605	99,718
有形固定資産合計	4,257,098	4,815,020
無形固定資産		
ソフトウェア	2,761	2,263
無形固定資産合計	2,761	2,263
投資その他の資産		
投資有価証券	936,557	1,186,289
その他	119,841	112,879
貸倒引当金	△2,740	—
投資その他の資産合計	1,053,658	1,299,168
固定資産合計	5,313,518	6,116,452
資産合計	7,882,908	8,919,147

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	292,161	373,269
電子記録債務	—	14,291
短期借入金	1,625,382	1,645,475
未払金	400,707	481,792
未払法人税等	6,196	1,288
賞与引当金	30,000	8,000
その他	162,235	237,870
流動負債合計	2,516,683	2,761,989
固定負債		
長期借入金	1,825,651	2,128,737
退職給付引当金	95,119	93,270
資産除去債務	50,905	50,932
その他	794,518	1,343,652
固定負債合計	2,766,194	3,616,592
負債合計	5,282,878	6,378,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金	216,248	216,486
利益剰余金	422,229	177,947
自己株式	△29,992	△23,998
株主資本合計	1,266,725	1,028,675
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	372,328	550,913
土地再評価差額金	960,976	960,976
評価・換算差額等合計	1,333,304	1,511,889
純資産合計	2,600,030	2,540,565
負債純資産合計	7,882,908	8,919,147

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
売上高	3,097,017	3,257,887
売上原価	2,751,268	3,084,651
売上総利益	345,748	173,235
販売費及び一般管理費	449,924	418,496
営業損失(△)	△104,176	△245,260
営業外収益		
受取利息	379	1,228
受取配当金	34,564	40,798
受取賃貸料	29,874	29,883
受取補償金	11,684	—
助成金収入	609	1,173
スクラップ売却益	17,350	16,093
その他	1,559	1,724
営業外収益合計	96,022	90,902
営業外費用		
支払利息	30,393	42,144
賃貸費用	8,613	8,506
その他	4,060	100
営業外費用合計	43,067	50,750
経常損失(△)	△51,222	△205,108
特別利益		
固定資産売却益	339	3,504
受取保険金	3,106	492
特別利益合計	3,446	3,997
特別損失		
固定資産売却損	—	695
固定資産除却損	12,372	16,075
事業撤退損	33,139	—
投資有価証券売却損	—	4
特別損失合計	45,511	16,775
税引前四半期純損失(△)	△93,287	△217,886
法人税、住民税及び事業税	585	615
法人税等調整額	40	△10
法人税等合計	625	604
四半期純損失(△)	△93,913	△218,491

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	251,110千円	348,666千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	計		
売上高						
一時点で移転される財	2,783,830	111,592	—	2,895,422	79,300	2,974,722
一定の期間にわたり移転される財	102,543	19,750	—	122,294	—	122,294
顧客との契約から生じる収益	2,886,373	131,342	—	3,017,716	79,300	3,097,017
セグメント利益又は損失(△)	△57,511	△19,526	20,864	△56,173	4,951	△51,222

- (注) 1. 「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
2. 「セグメント利益又は損失(△)」の合計額は、四半期損益計算書の経常損失と一致しております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子機器事業であります。

II 当第3四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	計		
売上高						
一時点で移転される財	2,831,865	183,239	—	3,015,105	28,111	3,043,216
一定の期間にわたり移転される財	177,148	37,522	—	214,670	—	214,670
顧客との契約から生じる収益	3,009,013	220,761	—	3,229,775	28,111	3,257,887
セグメント利益又は損失(△)	△248,651	3,231	21,167	△224,252	19,144	△205,108

- (注) 1. 「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
2. 「セグメント利益又は損失(△)」の合計額は、四半期損益計算書の経常損失と一致しております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子機器事業であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、電子機器事業について、従来「自社製品」に含めていましたが、事業撤退したため、「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、当第3四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。